

①

令和4年度

11月追加補正予算(案)のポイント

令和4年11月30日



静岡市

令和4年度11月追加補正予算(案)のポイント

令和4年度11月追加補正予算(案) 176億5,116万円

〔一般会計 173億6,572万円
特別会計 8,478万円
企業会計 2億 66万円〕

主に、「台風15号被害への対応」のための予算を編成

1 予算(案)の規模

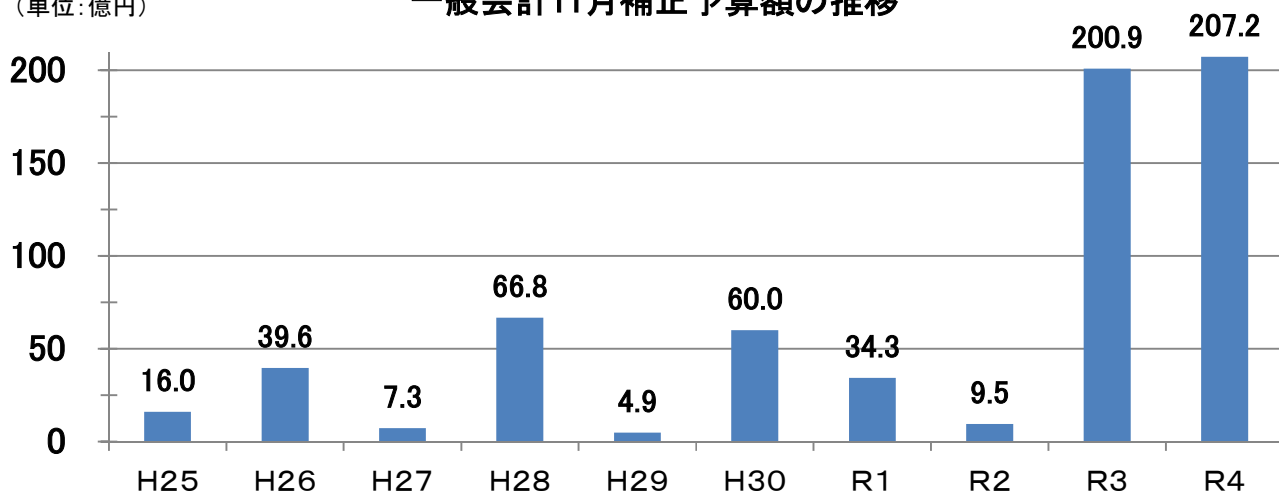
- 一般会計の補正予算の規模は約173億7千万円の増額で、前年度と比較すると約6億4千万円の増加。
11月補正としては、政令指定都市移行後 最大の規模
- 今回の補正予算は、「台風15号被害への対応」として一般会計で約164億4千万円の増額、特別会計で約8千万円の増額、企業会計で約1億6千万円の増額を計上。
- その他、国の経済対策に対応した「出産・子育て支援」として、妊婦・子育て家庭を対象とした伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施するため、一般会計で約4億7千万円の増額を計上。
- 人事委員会勧告に基づく給与改定により、一般会計で約4億5千万円の増額、特別会計で約1千万円の増額、企業会計で約5千万円の増額を計上。

(単位:千円)

| 区分 | 令和4年度 11月補正 予算額 | | 令和3年度 11月補正 予算額 | 増減額 | 増減率(%) |
|------|-----------------------|------------|-----------------------|--------------|--------|
| | 補正 | 追加補正 | | | |
| 一般会計 | 3,359,238 | 17,365,718 | 20,724,956 | 636,428 | 3.2 |
| 特別会計 | 83,000 | 84,782 | △ 21,210 | 188,992 | 891.1 |
| 企業会計 | 931,500 | 200,655 | 0 | 1,132,155 | 皆増 |
| 合計 | 4,373,738 | 17,651,155 | 20,067,318 | △ 15,693,580 | △ 78.2 |

(単位:億円)

一般会計11月補正予算額の推移



※一千万円未満は四捨五入

2 予算(案)の財源

- 特定財源としては、国庫支出金(災害復旧費負担金・補助金、出産・子育て応援交付金など)、県支出金(災害復旧費補助金、災害関連地域防災がけ崩れ対策事業費補助金など)、市債等を活用。
- 一般財源としては、令和3年度の決算剰余金(繰越金)及び財政調整基金(繰入金)を活用。

3 主要事業のポイント

| | | | | | | | | |
|-----------------|---------------|--|------|---------------|------|-----------|------|------------|
| (A) 台風15号被害への対応 | 16,674,015 千円 | <table border="1"> <tr> <td>一般会計</td> <td>16,441,845 千円</td> </tr> <tr> <td>特別会計</td> <td>76,700 千円</td> </tr> <tr> <td>企業会計</td> <td>155,470 千円</td> </tr> </table> | 一般会計 | 16,441,845 千円 | 特別会計 | 76,700 千円 | 企業会計 | 155,470 千円 |
| 一般会計 | 16,441,845 千円 | | | | | | | |
| 特別会計 | 76,700 千円 | | | | | | | |
| 企業会計 | 155,470 千円 | | | | | | | |

① 被災者・被災事業者への支援 1,872,100 千円

- 宅地に流れ込んだ土砂やがれきを撤去し、市民生活の再建を支援
- 災害ボランティア本部の活動の範囲拡大と円滑化を支援し、早期復旧を促進

【主な事業】

(単位:千円)

| 事業名 | 主な概要 | 金額 |
|-------------------------------------|---|---------|
| 1 堆積土砂排除事業 (財源: 国庫補助金 1/2、市債) | <p>宅地内に流れ込んだ土砂・がれき等の自力での撤去が困難な場合に、市等が撤去を実施</p> <p>1 宅地内からの撤去 300,000千円 ・実施内容 被災者からの連絡に基づき、市が現場調査を行い、宅地から土砂等を撤去 ・想定件数 200件(公共15件 単独185件)</p> <p>2 集積場からの撤去、運搬・処分 660,000千円 ・実施内容 宅地内から搬出された土砂等を撤去 ・想定土量 撤去対象 10,000m³ (公共1,500m³ 単独8,500m³) 運搬・処分対象 23,000m³ (公共2,500m³ 単独20,500m³)</p> | 960,000 |
| 2 災害ボランティア本部運営費助成 | <p>災害ボランティア本部の活動範囲拡大と活動の円滑実施を支援するため、必要経費を助成</p> <p>・交付先 社会福祉法人静岡市社会福祉協議会 ・対象経費 災害ボランティアセンター(サテライト)の開設・運営に要する経費</p> <p>・補助率 10/10 ・上限額 29,000千円</p> | 29,000 |



災害ボランティアセンター(葵区西ヶ谷地区)でのボランティア受付の様子



宅地内から前面道路に撤去された土砂等

● 農地の災害復旧を実施し、農業の安定経営を支援

【主な事業】

(単位:千円)

| 事業名 | 主な概要 | 金額 |
|------------------------------------|--|---------|
| 3 農地災害復旧事業 (財源:分担金、県補助金 1/2) | <p>農地の災害復旧事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災箇所 わさび田13か所、茶畑24か所、果樹園16か所、その他9か所 ・実施内容 土砂撤去、原形復旧、測量設計 ・費用負担 <ul style="list-style-type: none"> ①復旧費用 農地面積等に応じて算出する補助対象額の2分の1を公費負担、その他を農家が負担 ②設計費用 全額公費負担 | 723,100 |



被災した農地(わさび田)の様子

● 中小企業が有する施設や機械設備等の復旧に要する費用を助成し、事業の再開を支援

【主な事業】

(単位:千円)

| 事業名 | 主な概要 | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|---|------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------|--------|------------------|---|-----|-----|--------|-----|----------|------|-------------------|---|-----|---------|-----|-----|---------|
| 4 被災中小企業等 復旧・再建支援事業 | <p>被災した中小企業等の復旧・再建に必要な費用の一部を助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 市内に事業所を有する中小企業(約120者)、小規模事業者(約140者) ・対象経費 災害復旧に要する次の経費 建物の修繕、機械設備や業務用車両の修繕・購入等に係る経費 ・補助率 県による助成に対する横出し・上乗せを実施し、復旧に要する額の3/4を助成 <p><市・県による助成の内容></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>復旧に要する額</th> <th>県制度 (上限200万円)</th> <th>市制度 (上限100万円)</th> <th>合計 (上限300万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">小規模事業者</td> <td>40万円以上 75万円未満</td> <td>-</td> <td>3/4</td> <td rowspan="4">3/4</td> </tr> <tr> <td>75万円以上</td> <td>2/3</td> <td>1/12~1/4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中小企業</td> <td>40万円以上 100万円未満</td> <td>-</td> <td>3/4</td> </tr> <tr> <td>100万円以上</td> <td>1/2</td> <td>1/4</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">赤色：横出し分 青色：上乗せ分</p> | 対象者 | 復旧に要する額 | 県制度 (上限200万円) | 市制度 (上限100万円) | 合計 (上限300万円) | 小規模事業者 | 40万円以上 75万円未満 | - | 3/4 | 3/4 | 75万円以上 | 2/3 | 1/12~1/4 | 中小企業 | 40万円以上 100万円未満 | - | 3/4 | 100万円以上 | 1/2 | 1/4 | 160,000 |
| 対象者 | 復旧に要する額 | 県制度 (上限200万円) | 市制度 (上限100万円) | 合計 (上限300万円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小規模事業者 | 40万円以上 75万円未満 | - | 3/4 | 3/4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 75万円以上 | 2/3 | 1/12~1/4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中小企業 | 40万円以上 100万円未満 | - | 3/4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 100万円以上 | 1/2 | 1/4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

② インフラ・公共施設等の復旧 14,801,915 千円

| | |
|------|---------------|
| 一般会計 | 14,569,745 千円 |
| 特別会計 | 76,700 千円 |
| 企業会計 | 155,470 千円 |

● 公共施設等の災害復旧を速やかに実施し、市民生活の安全・安心を確保

【主な事業】

(単位:千円)

| 事業名 | 主な概要 | 金額 |
|--|--|-----------|
| 1 道路災害復旧事業 (財源:国庫負担金 66.7/100、市債) | 道路橋りょうの災害復旧事業 ・被災箇所 (主)梅ヶ島温泉昭和線など 783路線(1,204か所) ・実施内容 路肩・法面・兼用護岸等復旧工事、 埋塞土砂処分、崩土除去、倒木撤去 | 8,141,000 |
| 2 河川災害復旧事業 (財源:国庫負担金 66.7/100、市債) | 河川の災害復旧事業 ・被災箇所 (準)門屋川など68河川(71か所) ・実施内容 河道掘削、護岸復旧等工事、埋塞土砂処分 | 1,774,000 |
| 3 農業用施設災害復旧事業 (財源:県補助金 65/100、市債) | 農業用施設(農道等)の災害復旧事業 ・被災箇所 農道 貝伏宝ノ窪線など256路線(317か所) 水路 大原樋管など93か所 ・実施内容 擁壁・舗装等の復旧、測量設計など | 1,939,100 |
| 4 林道災害復旧事業 (財源:県補助金 65/100、1/2、市債) | 林道の災害復旧事業 ・被災箇所 林道炭焼平山線など116路線(325か所) ・実施内容 法面、路肩構造物の復旧、土砂・倒木撤去など | 1,233,400 |
| 5 急傾斜地崩壊対策事業 (財源:県補助金1/2、市債) | 激甚災害によりがけ崩れ等が発生した箇所の更なる崩壊を防止する工事を実施 ・対象事業 激甚災害により崩壊等が発生した、以下の基準を満たす箇所 ・市地域防災計画に危険箇所として記載され、又は記載されることが確実ながけ地 ・保全対象人家2戸以上4戸以下又は公共的施設 ・がけ地の高さ5m以上 ・事業費600万円以上 ・実施箇所 清水区河内地区、西里地区 ・実施内容 令和4年度 測量設計、地質調査、用地測量 令和5年度 対策工事(令和4年度から繰越) | 350,000 |



(主)梅ヶ島温泉昭和線の兼用護岸損傷の様子



急傾斜地(清水区河内)の崩壊の様子

(B)その他

977,140 千円

| | |
|------|------------|
| 一般会計 | 923,873 千円 |
| 特別会計 | 8,082 千円 |
| 企業会計 | 45,185 千円 |

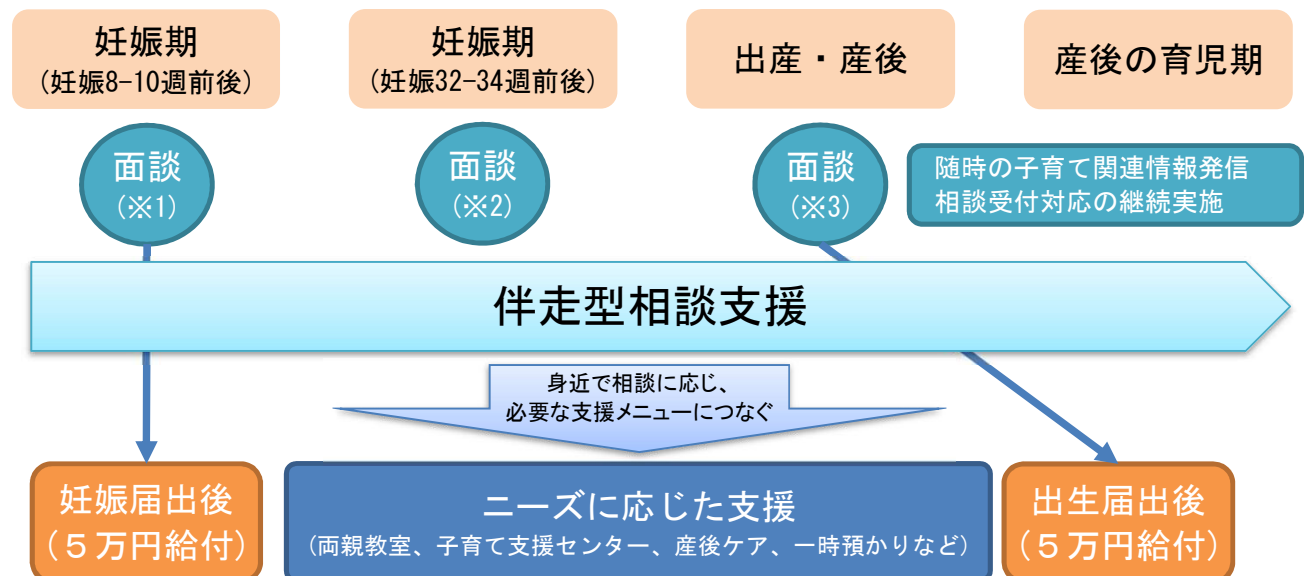
● 妊婦や子育て家庭の孤立感や不安感を解消するための環境整備を推進

【主な事業】

(単位:千円)

| 事業名 | 主な概要 | 金額 |
|--|--|---------|
| 1 出産・子育て応援給付金給付事業 (財源:国庫補助金 2/3、 県補助金 1/6) | すべての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、伴走型の相談支援と経済的支援を一体として実施 ・対象者 ①令和4年度中に出生する子どもの養育者 ②令和5年1～3月に妊娠届出する妊婦 ※令和4年12月までに妊娠届出した妊婦の子どもが令和5年度中となる場合については、令和5年度当初予算で対応 ・実施内容 ①妊娠届出後 ・各保健福祉センターで保健師が相談支援 ・給付金の給付(1回目) ②出生届出後 ・各家庭で助産師、保健師または赤ちゃん訪問員が相談支援 ・給付金の給付(2回目) ※各相談対応等を通じて産前産後のサービス利用等につなげ、伴走型相談支援を実施 ・給付額 1回目 妊婦1人あたり5万円 2回目 新生児1人あたり5万円 ・給付方法 各相談支援実施後、申請に基づき現金支給 ※令和4年度中に出生する子どもの養育者に対しては一括給付 ・給付時期 令和5年1月以降(予定) | 472,500 |

妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援のイメージ



- ※1 子育てガイドを一緒に指差し確認、
出産までの見通しを寄り添って立てる 等
- ※2 夫の育休取得の推奨、両親教室等の紹介
産後サービス利用を一緒に検討・提案 等
- ※3 子育てサークルや父親交流会など、悩みを共有できる仲間作りの場の紹介
産後ケアなどサービス、育休給付や保育園入園手続きの紹介 等